



さあ、  
新しい次元へ。

# ゾーベックエンテクタ™ SE

園芸用殺菌剤

**メロンに適用拡大!**

予防効果が長く持続する。

2種の有効成分のはたらきにより、疫病、べと病への高い効果

その理由は

- 耐雨性に優れる
- 浸達性(葉表から葉裏への移行)にも優れる
- 新展開葉へも効果を発揮する



無人航空機  
に対応!

※ばれいしょのみ

3000倍  
希釈に使いやすい  
167mℓ規格も  
登場!



# ゾーベックエンテクタ™SEはここがいい!

## 1.優れた耐雨性

## 2.優れた浸達性

## 3.新展開葉へも移行

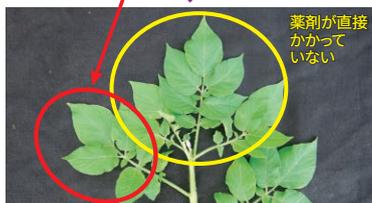
莖葉部から吸収された有効成分が速やかに上方移行。上位葉および新展開葉を保護します。

薬剤散布直前(植物全体に散布)



新葉から次々展開、  
上から4番目へ

14日後に疫病菌を  
接種(残効を見る)



薬剤が直接  
かかって  
いない

調査時(21日後)

■試験結果(散布14日後接種による防除効果)

	ゾーベックエンテクタ™SE 3000倍	D剤 1500倍	無処理
実用濃度	平均発病面積:0%	15%	100%
1/4濃度	0.5%	40%	

※発病面積%数値は2区の平均

●試験場所:日産化学株式会社 生物科学研究所(2021年) ●作物:ばれいしょ(男爵) ●区制:2反復

\*薬剤の特性を見るため、低薬量で試験を実施しています

【試験方法】実用濃度に希釈した薬液をばれいしょに散布。薬剤散布7日後、14日後にじゃがいも疫病菌を接種し、上位4葉の発病面積(%)を調査した。

## ■適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アミスルプロムを含む 農薬の総使用回数	オキサチアピロリンを 含む農薬の総使用回数
ばれいしょ	疫病	3000倍	100~ 300ℓ/10a	収穫14日 前まで	3回以内	散布  無人航空機 による散布	5回以内 (植付前は1回以内、 植付後は4回以内)	3回以内
		750倍	25ℓ/10a					
		80倍	3.2ℓ/10a					
		40倍	1.6ℓ/10a					
たまねぎ	べと病	3000倍	100~ 300ℓ/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	3回以内	2回以内
キャベツ								
ブロッコリー はくさい								
レタス 非結球レタス								
きゅうり メロン								
トマト ミニトマト	疫病	4000倍	収穫前日まで	4回以内				

### ■効果・薬害等の注意

●使用前によく振って薬液が十分懸濁されていることを確認してから使用してください。●使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。●石灰硫黄合剤やゴールドー液等アルカリ性農薬との混用はさけてください。●散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。●使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調節してください。●散布にあたっては、風向きなどに注意し、薬液が周辺の作物に飛散してかからないように十分注意してください。●耐性菌管理の観点から、育苗期間中は本剤を使用しないでください。●ばれいしょに対して希釈倍数750倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度運動式地上液剤散布装置を使用してください。●メロンに使用する場合は、高温時に散布すると葉に薬害を生じることがあるので注意してください。また、薬害を助長することがあるので展着剤の加用はしないでください。●本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ってください。●散布は各散布機種の散布基準にしたがって実施

してください。●散布機種に適合した散布装置を使用してください。●散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。●散布薬液の飛散によって動植物の被害や自動車の塗装等に被害を与えるおそれがあるなど、各分野に影響があるので、散布区域内の諸物件に十分留意してください。●本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

### ■安全使用上の注意

●誤飲などのないよう注意してください。●本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。●本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。●付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。●直射日光を避け、なるべく低温場所に密栓して保管してください。

### ■ゾーベック™耐性菌管理方針

殺菌剤分類 49, 21

●疫病、べと病に有効な異なる作用性の殺菌剤と組み合わせた体系(ローテーション散布)で使用してください。●殺菌剤分類(FRACコード)49の有効成分を含む薬剤(本剤を含む)の使用回数は総防除回数の1/3を超えないようにしてください(疫病、べと病の防除が3回以内であれば1回まで)。●本剤は病気が発生する前に、予防的に散布してください。病気発生後の散布では十分な効果が得られません。また耐性菌の発生を助長する恐れがあります。●本剤は栽培期間の前半に使用してください。有効成分による作物保護効果が高く発揮されるだけでなく、耐性菌発生リスクが抑えられます。●殺菌剤分類(FRACコード)49の有効成分を含む薬剤(本剤を含む)は定植前の苗には使用しないでください。

Corteva AgriscienceはFRACメンバーでその活動を全面的に支持しており、前記のゾーベックエンテクタ耐性菌管理方針は上述した考え方に則って作成されています。FRACに関する参照サイト

(1) Fungicide Resistance Action Committee (FRAC) ウェブサイト(英語) <http://www.frac.info/home>  
(2) Japan FRAC 殺菌剤耐性菌対策委員会 ウェブサイト(日本語) <http://www.jcpa.or.jp/labofrac/>

●ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。

●空容器は、ほ場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2024年12月末日現在の知見に基づき、作成されています。

製造

コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社

〒100-6110 東京都千代田区永田町2丁目11番1号 山王パークタワー

<https://www.corteva.jp/>



取扱